

きないかと考えた。

この試験の結果から、満開後20～30日目に100ppmを散布して、40～50日目に落果の少なかった樹に対しては50ppmを再散布し、目的の落果比にするのがよいようである。

これによって、若木でも落果過多にならず、使用できる方法として普及の見込みができたので、47年度は若木園で試継を継続することとしている。

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課

昭和47年1月1日～3月31日

分類	種類名	商品名	有効成分の種類および含有量	剤型	適用作物名 適用場所	適用雑草名	使用時期	使用料 (10a当り)	使用方法	登録会社
ホルモン型除草剤	オキサジアン除草剤	ロンスター粒剤4	5-ターシヤリブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロポキシフェニル)-1,3,4-オキサジアン-2-オン 4.0%	粒剤	水稻 〔壤土～埴土(極端な漏水田はさける)、普通期栽培地帯全城〕	ノビエその他水田1年生雑草およびマツバイ	ノビエ1.5葉期まで(田植後8～10日)	3kg	湛水散布	日産化学工業
		ロンスター乳剤	同上 12.0%	乳剤	砂壤土～埴土(極端な漏水田を除く) 全地域の普通期栽培および温暖地早期栽培	同 上	植代時～植代直後(田植前1～3日)	500～600cc(原液散布)	荒代播後植代播前、原液のまま土壌に均一に散布し、混和する。混和深は2～3cm(混和時の水深は3～5cm)、なお植代直後処理の場合は植代播水がにこっているときに、原液のまま均一に散布する(散布時水深3～5cm)	日産化学工業
				乳剤	北海道を除く全地域の普通期栽培(関東の早期栽培を含む)	同 上	埴土～埴土(極端な漏水田を除く)	500cc(原液散布)		
非ホルモン型除草剤	アシラム除草剤	アーザラン液剤	N-メトキシカルボニルスルファニルアミドナトリウム 37.0%	液剤	牧野・草地	ギンギン類およびキク科雑草	秋～春期(9～5月)ギンギン類展葉時期	400～600cc(80～100ℓの液量として散布)	散布(茎葉処理)	塩野義製薬
							早春～秋(1～11月)ギンギン類展葉時期	50～80倍液とし雑草が充分ぬれる量(1株当り25cc)	局部散布(茎葉処理)	

分類	種類名	商品名	有効成分の種類 および含有量	剤型	適用作物名 適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	使用方法	登録会社
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤								または1m ² 当り100 cc)		
						ワラビ	ワラビ展開 期	1000～ 1500cc (80～100 ℓの液量と して散布)	散 布 (茎葉処理)	
					和 芝	畑地1年生 雑草	秋～春期 (芝発芽前)	1000～ 1250cc (200～ 300ℓの液 量として散 布)	散 布 (土壌処理)	
					桑	畑地1年生 雑草および キク科タデ 科の多年生 雑草	桑発芽前ま たは桑刈取 直後	750cc (100～15 0ℓの液量 として散布)		
混 合 剤	DCMU ・ター バシル 除草剤	デュボ ンゾー バー	3-ターシヤー ブチル-5-クロ ル-6-メチルウ ラシル 40.0% 3-(3,4-ジク ロルフエニル)1, 1-ジメチル尿素 39.0%	水和 剤	温州みかん・夏 みかん	畑地1年生 雑草	雑草発芽前 および雑草 生育期	300g	土壌全面散布 および雑草の 茎葉散布 (10a当り 散布水量は土 壌処理、茎葉 処理としてそ れぞれ150ℓ 200～300ℓ (非イオン系 展着剤加用)	デュボン フアーイ ースト日 本支社
					りんご(成木)	同 上	同 上	200～ 300g		
	ACN・ MCPB ・NIP 除草剤	モグサ ンド粒 剤	2-アミノ-3- クロル-1,4-ナ フトキノ 5.0% 2-メチル-4- クロルフエノキ ン酢酸エチル 0.6% 2,4-ジクロルフ エニル-4-ニト ロフエニルエー テル 5.0%	粒剤	水稻 〔埴土～壤土、 縦浸透量2cm/ 日以下、北海道 を除く全域の普 通期作地帯〕	ノビエ等の 水田1年生 雑草および マツバイ、 ウキクサ、 藻類、ウリ カワ	田植後4～ 7日(ノビ エ1葉期ま で)	3～4kg	湛水散布 (土壌処理)	兼 商

植 調 読 料 の 改 訂 に つ い て

本誌につきましては、平素よりご愛読いただき、厚く御礼を申し上げます。さて、郵便料金、その他の諸経費の値上がりのため、第6巻より年間購読料を1,500円にいたしますので、何とぞご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

植 調 編 集 印 刷 事 務 所